

非稼働病床の今後の予定について

番号	区分	医療機関名	所在地	令和4年7月1日現在の医療機能等(令和4年度病床機能報告)											非稼働病床について(令和5年度独自調査)							
				病床数					病棟数						病棟名	病床数	非稼働開始時期	予定	再開後の機能	具体的な時期	非稼働理由	解消に向けた取組
				高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等								
1	公立	公立西知多総合病院	東海市中ノ池三丁目1番地の1	53 (8)	415	0	0	0 (45)	468	2	11 (10)	0	0	0 (1)	13	7階東病棟	45	2015.5	再開予定	急性期	未定	<p>医師等、医療従事者の確保が困難であるため。また、地域医療構想及び第8次医療計画を踏まえた当院のあり方について検討中であるため。</p> <p>当院は、2015年5月開院時の稼働病床378床から始まり、医療従事者の獲得の努力により、2018年4月に現在の稼働病床423床の運用となった。</p> <p>医師職については、大学医局からの派遣が主であるため、定期的な医局訪問により、関係構築に努めている。また、人材斡旋業者の利用を行い、新規採用に繋げている。</p> <p>看護職については、西知多看護専門学校からの人材確保のほか、周辺の教育機関への学校訪問や修学資金制度を設けるなど、西知多看護専門学校以外からの人材確保にも取り組んでいるところである。さらに、看護補助員については、直接募集に加え、令和2年度より人材派遣会社との契約を締結し、確保に努めている。</p> <p>これらの活動による採用実績として、2018年4月1日時点と2023年4月1日時点での常勤職員数を比較すると、医師16名、看護補助員を含む看護職員8名増加しており、全職員数では23名の増加となっている。</p> <p>以上のように、必要な医療従事者の確保に努めているところであるが、特に医師職については、大学医局の人事異動に大きく左右されることから、充足の時期については、現時点で未定である。</p> <p>今後も引き続き、積極的な医療従事者の確保に取り組み、非稼働病床の再開に向けた準備を行っていく考えである。</p>
2		小嶋病院	東海市大田町後田97	0	0	60	60	120	240	0	0	1	1	2	4	本館2階病棟	60	2017.1	再開予定	回復期	2025年度	<p>建物の老朽化によるため。</p> <p>建物の建替えによる。建替えを東海市立地計画に沿う形で進めており、担当部局と協議進行しています。</p> <p>2023年度第2回知多半島構想区域地域医療構想推進委員会において、建替えと建て替え後の機能について承認を得ました。</p>
3		国立研究開発法人国立長寿医療研究センター	大府市森岡町7-430	4	196	145	0	38	383	1	4	3	0	2	10	南4階病棟	18	2004.3	再開予定	回復期	未定	<p>2004年3月に国立療養所中部病院から国立長寿医療研究センターへの移行時に厚生労働省の指導に基づき非稼働病床とした。</p> <p>当センターは、現在、稼働病床345床で運用を行っている。休床病床がある南病棟は昭和44年6月竣工であり老朽化も著しいことから、新病棟に隣接し使い勝手の良い中病棟4階を使用することに決定した。中病棟においても配管や空調などの改修整備が必要なことが判明したことから、センターの財政状況を勘案しながら、今後の運用、非稼働病床の解消に向けて検討し整備を行っていく。なお、南3,4病棟から中病棟4階への休床病床にかかる医療法上の整理を行うこととしている。</p>
病院計				57 (12)	611	205	60	158 (203)	1,091	3	15 (14)	4	1	4 (5)	27		203					

※ ()内の数値は、公立西知多総合病院の令和4年度病床機能報告で報告誤りがあったため、訂正後の数値。